

身近だった森林や自然の中での仕事、 もっと木について学びたい

森林や自然の中での仕事が 身近だった

森林組合への就職を決められた理由は？

実家にも祖父が所有する山があり、自分が産まれた時には杉を植えたそうです。子どもの頃は森林で遊んでいましたし、自然の中での仕事は、身近な存在でした。高校時代、森林にさほど興味があつた訳ではなかったのですが、森林組合の求人を見て、自然に就職を考えていました。

勉強と経験を積む仕事

どんな仕事をされていますか？

森林組合は、組合員さんの所有する山の管理と間伐した木材の販売が主な事業です。山の作業は、植林された杉や檜などの枝を切る枝打ち、林の下に生えた草を刈る下刈り、雪の重みで寝てしまった木を起す木起し、そして間伐の作業があり、現在、これらの作業は組合請負作業班に作業してもらっています。間伐した木材の販売は、年に2、3回、木材市場を開催しています。また注文に合った木を選定し製材所や工務店などに販売しています。入組してずっと配属は業務課で、主に販売を担当していますが、最初は先輩と一緒に山の所有者に会い、測量を学び、現場の作業確認をしたり、市場で木材の勉強をしたり、とにかく先輩について現場で学びました。山は手を加えるときいいになり、新しいことを学ぶ日々、おもしろさを感じていました。

担当されている木材の販売について教えてください。

扱う木の8割は杉、2割は檜で、植林後40～60年の木がほとんどです。その他に雑木と呼ばれる樺や栗もあり、これはテーブルや社寺建築などに使われます。

木材はABCのランクに分けます。A材は工務店などに販売し、建築材などに使われます。最も値段が高くなります。B材はベニヤ板などの材料として加工会社へ販売されます。C材はチップ加工業者へ販売されバイオマス発電などに使われます。

販売で難しいのは、木材は同じものが一つとしてなく、木の選別には勉強と経験を積むしかないということです。例えば、節



の多い木は価値が低い事はよく知られています。良い木材は、切り口の色は赤みが多く、木が真っ直ぐなこと、年輪の中心である芯が真ん中にあること、年輪が細かいなど、他にも多くの見るべき点があります。入組して11年になりますが、今も木材の選別は難しく、すでに退職されたのですが19年間木材の選定に携わってこられた先輩に連絡して相談することもあります。

注文に合った木を選び、 木に合った売り先につなぐ

どのようなときにやりがいを感じますか？

木が少しでも高く売れたときは、やりがいを感じます。利益を山の所有者へ返すことが最大の目的です。それには、工務店などから受けた注文に合った木を選び、出荷することが重要です。また木材市場を開催し、木に合った売り先につなげることも大切です。安い輸入材が多く使われ、国産の木材の利用が減っており、地域産の木の利用を拡げる活動もしています。他所の木材市場を見学したり、研修に参加し、もっと木について学びたいと思います。後輩にも教える立場になり、教える難しさを感じながら、仕事の楽しさを伝えられればと思っています。

林業では、特殊な免許が必要というイメージがあるのですが。

免許の数は自慢です。大型自動車、大型特殊から重機、クレーンなど12、3種類ほどの免許を持っています。入組してから取得しました。安全に作業するために必要なもので、組合では免許を取得するための支援があります。林業で働くことをめざしているなら、先行して取得しておくのもいいと思います。

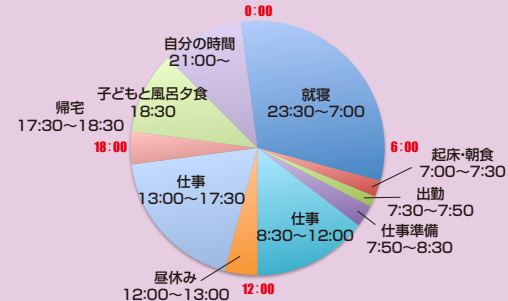


DATA

●プロフィール&高島らしさとは？

1986年、高島市生まれ。2004年、高島郡森林組合(現、高島市森林組合)に就職。1児の父。休日は、家族サービスで、子どもの好きな工事車両などを見に行きます。

●1日のタイムスケジュール



自主性が求められる仕事です

林業をめざす若い人にメッセージをお願いします。

仕事のおもしろさが分かるまで、最低3年はかかります。ひたすら学ぶ、我慢の期間です。決してすぐにできる仕事ではありません。どの仕事についても言えることですが、本当の楽しさを味わう前に辞めてしまってはもったいない。任されるまで喰らいつく忍耐力は重要です。自分で判断して動けるようになって、初めて仕事のおもしろさが分かるようになります。自主性が求められる仕事です。

高島市森林組合

〒520-1412 高島市朽木野尻364-2

TEL : 0740-38-2214 FAX : 0740-38-3277

HP : <http://www.takashima-shinrin.jp/>